



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月24日

上場会社名 株式会社 不二家  
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	75,208	4.4	△201	—	524	△85.9	△90	—
2022年12月期第3四半期	72,058	—	2,516	28.6	3,718	27.7	2,028	26.3

(注)包括利益 2023年12月期第3四半期 1,225百万円 (△64.1%) 2022年12月期第3四半期 3,410百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△3.51	—
2022年12月期第3四半期	78.71	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
 このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第3四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 なお、当該会計基準等を除外した実質の増減率は14.5%増であります。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	80,246	59,392	68.2
2022年12月期	83,712	59,165	65.6

(参考)自己資本 2023年12月期第3四半期 54,714百万円 2022年12月期 54,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	5.4	2,200	△49.2	3,000	△45.9	1,400	△58.5	54.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	25,784,659 株	2022年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	8,771 株	2022年12月期	8,602 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	25,775,982 株	2022年12月期3Q	25,776,121 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、各種政策の効果による景気の回復が期待されておりますが、食品業界においては、原材料・エネルギー価格の高騰や食品値上げに対するお客様の節約志向の高まりにより厳しい状況となりました。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスを提供できるよう、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、752億8百万円（対前年同期比104.4%）と、前年同期の実績を上回りました。

一方、利益面では、製品価格の見直しや省人化など生産性向上をはかってまいりましたが、想定を上回る原材料価格の高騰や人件費の上昇、製菓事業における製品価格見直しによる販売数量の減少、洋菓子事業における在庫抑制による生産高の減少が大きく影響し、営業損失は2億1百万円（前年同期は25億16百万円の営業利益）、経常利益は5億24百万円（対前年同期比14.1%）、親会社株主に帰属する四半期純損失は90百万円（前年同期は20億28百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、現在、主力ブランド製品の拡販をはかり、第4四半期の売上目標の達成を目指すとともに、利益の回復に向け、工場の稼働を促進させてさらなる生産性向上とコスト改善に取り組んでおります。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2023年1月1日から 2023年9月30日まで		2022年1月1日から 2022年9月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	17,195	22.9	17,463	24.2	98.5	△268
	レストラン	4,155	5.5	3,395	4.7	122.4	760
	計	21,351	28.4	20,858	28.9	102.4	492
製菓事業	菓子	48,033	63.9	45,086	62.6	106.5	2,946
	飲料	3,423	4.5	3,781	5.3	90.5	△358
	計	51,456	68.4	48,868	67.9	105.3	2,587
その他		2,400	3.2	2,331	3.2	102.9	68
合計		75,208	100.0	72,058	100.0	104.4	3,149

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店にて常に変化のある品揃えによりお客様に選ぶ楽しさを提供してまいりました。岡山県産清水白桃など産地・品種にこだわった素材を使用した『厳選素材製品』や月ごとに旬の国産フルーツを使用した期間限定のケーキ『宝石箱シリーズ』を展開し、好調に推移いたしました。しかしながら、記録的な猛暑の影響が大きく、当第3四半期連結会計期間末の不二家洋菓子店の営業店舗数が940店と前年同期に比べ13店減少したこともあり、洋菓子店の売上は前年を下回りました。

なお、新たな取り組みとして、冷凍スイーツ自動販売機の設置活動を推進し、販路の拡大につとめております。また、9月には「はじまるよ、新しい不二家」をテーマに洋菓子店のVI（ビジュアルアイデンティティ）を刷新いたしました。順次、店舗の看板や包装資材等のデザインのリニューアルを実施するとともに、各種営業施策を着実に実践・実行することにより、洋菓子店の売上は急速に回復に向かっております。

広域流通企業との取り組みについては、パフケーキやシュークリーム、ミルクレーブなど生産性の高いラインで製造できる製品の拡販を行うとともに、マカロンなど当社の技術力を活かした製品の提案を積極的に行った結果、売上は好調に推移いたしました。

レストラン事業では、メニュー及び価格の一部見直しによる客単価アップ、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた客足の回復に加え、これまで取り組んできた美化改装の効果もあり、売上高は41億55百万円（対前年同期比122.4%）と前年同期の実績を上回りました。

(株)ダロワイヨジャパンでは、百貨店や駅ビルに出店している店舗の販売が好調に推移しており、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は213億51百万円（対前年同期比102.4%）となりましたが、利益面では、卵、油脂など原材料価格の高騰や第2四半期末における不良在庫の処分の影響により、厳しい結果となりました。

#### <製菓事業>

当社単体の菓子においては、3月の価格改定を機に「カントリーマアム」や「アーモンドチョコレート」、「ピーナッツチョコレート」等の大袋製品の販売数量が減少し苦戦しておりましたが、徐々に回復してきております。また、主力ブランド製品の『ホームパイ』や『ミルクィ』は好調に推移し、売上は前年同期の実績を上回りました。

なお、前期に生産能力の増強とともに生産性の向上をはかった設備を活用し、9月には期間限定で「カントリーマアム チョコまみれ」「ホームパイ チョコだらけ」の増量品を発売するなどさらなる売上向上に取り組んでおります。

不二家（杭州）食品有限公司では、人気のポップキャンディの販売が好調に推移し、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は514億56百万円（対前年同期比105.3%）となりましたが、利益面では、製品価格の見直しによる販売数量減少により、減益となりました。

#### <その他>

キャラクターグッズ販売、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び(株)不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は、24億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は307億97百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ63億2百万円減少いたしました。固定資産は494億49百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産の増により、前連結会計年度末に比べ28億36百万円の増加となりました。

この結果、総資産は802億46百万円で前連結会計年度末に比べ34億65百万円減少いたしました。

また、流動負債は173億69百万円で、主に支払手形及び買掛金やその他に含まれる設備支払手形の減により前連結会計年度末に比べ36億89百万円減少いたしました。固定負債は34億84百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。

この結果、負債は合計208億54百万円で、前連結会計年度末に比べ36億92百万円減少いたしました。

純資産は593億92百万円で、主に為替換算調整勘定の増により前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年7月28日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年10月24日)公表の「2023年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,385	10,370
受取手形及び売掛金	15,827	12,110
商品及び製品	4,113	4,567
仕掛品	532	409
原材料及び貯蔵品	3,339	2,331
その他	1,106	1,201
貸倒引当金	△206	△193
流動資産合計	37,099	30,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,933	11,972
機械装置及び運搬具（純額）	13,974	13,426
土地	6,402	7,086
リース資産（純額）	611	565
その他（純額）	1,264	2,056
有形固定資産合計	33,187	35,107
無形固定資産		
その他	1,908	1,831
無形固定資産合計	1,908	1,831
投資その他の資産		
投資有価証券	6,086	6,744
繰延税金資産	1,318	1,818
敷金及び保証金	2,007	2,031
退職給付に係る資産	346	333
その他	1,884	1,705
貸倒引当金	△125	△122
投資その他の資産合計	11,517	12,510
固定資産合計	46,613	49,449
資産合計	83,712	80,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,437	6,893
短期借入金	960	960
リース債務	217	219
未払金	2,835	3,020
返金負債	2,060	1,767
未払法人税等	858	301
賞与引当金	432	1,045
その他	5,256	3,162
流動負債合計	21,059	17,369
固定負債		
リース債務	321	255
繰延税金負債	234	249
退職給付に係る負債	2,012	2,086
役員退職慰労引当金	62	65
その他	857	828
固定負債合計	3,488	3,484
負債合計	24,547	20,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,243	30,380
自己株式	△16	△17
株主資本合計	53,567	52,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	240
繰延ヘッジ損益	△26	3
為替換算調整勘定	1,040	1,566
退職給付に係る調整累計額	197	200
その他の包括利益累計額合計	1,350	2,010
非支配株主持分	4,247	4,678
純資産合計	59,165	59,392
負債純資産合計	83,712	80,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	72,058	75,208
売上原価	46,929	51,593
売上総利益	25,129	23,614
販売費及び一般管理費	22,612	23,815
営業利益又は営業損失(△)	2,516	△201
営業外収益		
受取利息	58	38
受取配当金	11	49
持分法による投資利益	545	551
保険解約返戻金	89	81
受取補償金	332	—
助成金収入	67	—
その他	135	68
営業外収益合計	1,241	790
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	33	59
営業外費用合計	39	64
経常利益	3,718	524
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	20
関係会社株式売却益	—	76
特別利益合計	0	96
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	159	25
投資有価証券評価損	—	2
災害損失	3	—
段階取得に係る差損	36	—
支払補償費	—	69
特別損失合計	198	96
税金等調整前四半期純利益	3,520	524
法人税、住民税及び事業税	980	749
法人税等調整額	143	△547
法人税等合計	1,124	201
四半期純利益	2,395	322
非支配株主に帰属する四半期純利益	366	412
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,028	△90

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,395	322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	149
為替換算調整勘定	1,054	685
退職給付に係る調整額	△42	2
持分法適用会社に対する持分相当額	14	65
その他の包括利益合計	1,014	902
四半期包括利益	3,410	1,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,754	569
非支配株主に係る四半期包括利益	655	655

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	17,463	—	17,463	—	17,463	—	17,463
レストラン	3,395	—	3,395	—	3,395	—	3,395
菓子	—	45,086	45,086	—	45,086	—	45,086
飲料	—	3,781	3,781	—	3,781	—	3,781
その他	—	—	—	2,198	2,198	—	2,198
顧客との契約から生じる収益	20,858	48,868	69,727	2,198	71,925	—	71,925
その他の収益	—	—	—	133	133	—	133
外部顧客への売上高	20,858	48,868	69,727	2,331	72,058	—	72,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	428	429	356	785	△785	—
計	20,858	49,297	70,156	2,688	72,844	△785	72,058
セグメント損益(△は損失)	△906	5,909	5,003	412	5,415	△2,898	2,516

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,898百万円には、その他の調整額5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,904百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	17,195	—	17,195	—	17,195	—	17,195
レストラン	4,155	—	4,155	—	4,155	—	4,155
菓子	—	48,033	48,033	—	48,033	—	48,033
飲料	—	3,423	3,423	—	3,423	—	3,423
その他	—	—	—	2,256	2,256	—	2,256
顧客との契約から生じる収益	21,351	51,456	72,807	2,256	75,064	—	75,064
その他の収益	—	—	—	144	144	—	144
外部顧客への売上高	21,351	51,456	72,807	2,400	75,208	—	75,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	324	325	359	684	△684	—
計	21,351	51,781	73,132	2,760	75,892	△684	75,208
セグメント損益(△は損失)	△2,347	4,930	2,582	391	2,974	△3,175	△201

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△3,175百万円には、その他の調整額12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,188百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。